

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	高齢者生活福祉センターふれあい羽衣	評価対象年度	平成 27 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上岩船福祉会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	評価者(課長)	富樫 孝平

①事業実績

利用実績	平成27年度当初入居者数 12名、途中入退所 入所2名、退所2名、年度末入居者数 12名
サービス向上の取り組み	定期的に趣味の助長や季節に応じた行事を計画する。

②管理経費

区分		前々年度 (H25年度)	前年度 (H26年度)	当該年度 (H27年度)	合計	備考
収入	指定管理料	8,058,000	8,317,000	8,317,000	24,692,000	指定期間における指定管理料の総額:41,041,000円
	利用料金	2,030,700	1,656,400	1,629,700	5,316,800	
	自主事業収入					
	その他	373	370	141,905	142,648	
計		10,089,073	9,973,770	10,088,605	30,151,448	
支出	管理経費	10,089,073	9,973,770	10,088,605	30,151,448	
	(うち人件費)	5,008,000	5,070,000	5,148,055	15,226,055	
	(うち光熱水費)	2,156,000	2,062,000	2,094,000	6,312,000	電気、ガス、上下水道料金
	(うち修繕費)	346,000	211,699	318,824	876,523	建物等修繕費
	(うち委託料)	1,791,000	1,819,000	1,831,720	5,441,720	宿直・清掃・消防設備点検等
	(うちその他)	788,073	811,071	696,006	2,295,150	福利厚生・通信費他
自主事業費						
計		10,089,073	9,973,770	10,088,605	30,151,448	
差引						

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) 隣接する特別養護老人ホーム、デイサービスセンターと連携し利用者へサービスを提供し、良好に運営を行っている。新たな利用申込者については、申込者の生活環境や身体状況を丁寧に聞き取り、今後入居に至るまでの見通し、他のサービス利用について助言を行うなどの対応をしている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	4	3.2	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由) 独自の催し開催のほか、併設の介護保険施設、事業所と合同の催しに入居者を参加させるなど、入居者の健康づくり楽しみづくりを継続して行っている。施設外へ出かけて地域の集落行事等にも参加し、地域に暮らす高齢者として自覚し、認知される環境を提供している。 入居者の相談や要望にも随時対応している。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) 施設運営経費の削減に努めているが、必要時には廊下部の床暖房を使用する、あるいは施設所有車輛を提供し外出支援を行うなど、入居者への配慮は必要。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守るができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 毎月の防災委員会、年4回のふれあい羽衣会議を開催し、職員資質向上と入居者の状況を共有している。併設施設との職員交流や連携は十分行われており、非常時の協力体制も確立されている。入居者状況や施設状況に合わせ、適宜各種マニュアル等の適正化を行う必要がある。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 災害訓練や設備点検を定期的に行っている。施設、設備の不具合箇所の有無について、職員、必要に応じて業者に点検を依頼し、随時確認し、維持管理に努めている。				

④総合評価

評価点合計	81.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

入所者の高齢化により、小規模な施設ではあるが、入居者1人に関わる時間が増えており、個人にあった支援方法や不安解消に職員が努力している。常時の情報共有、法人内研修、専門職の支援等により職員の資質向上が図られている。施設は年々老朽化しているが、維持管理が適切に行われ、入居者への不都合はない。
そのため、総じて良好な管理運営が行われていると評価できる。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

入居者の精神的、身体的状態の維持向上を図るために、入居者個々の状態確認や支援方法の検討が必要で、職員の負担が増えていく。入居者への支援体制の向上は今後も継続し、併せて職員への適切な助言、責任分散などを行い、入居者並びに職員が健康で安全に過ごせる施設運営に向けた取り組みを検討したい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分	
S	95.0以上
A	80.0以上95.0未満
B	60.0以上80.0未満
C	60.0未満